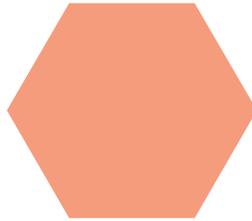
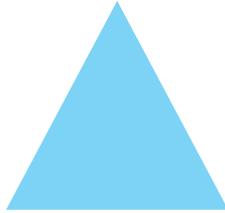
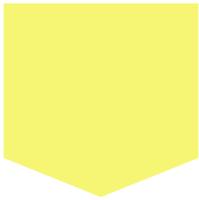
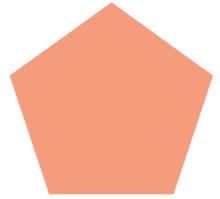
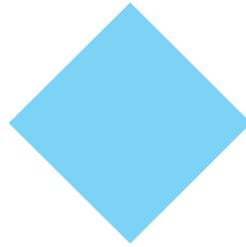
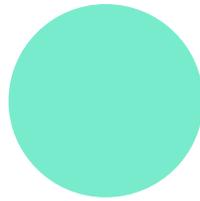
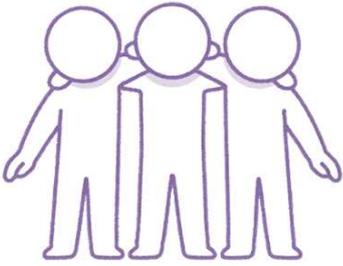
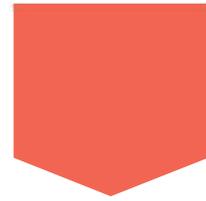
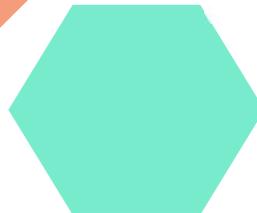
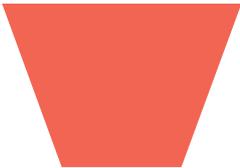
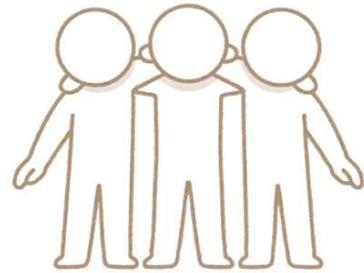
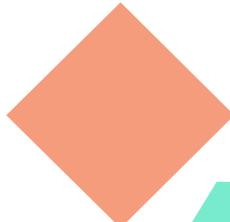
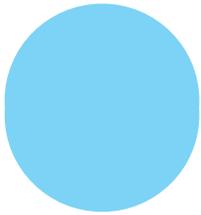


認め合おう



くに

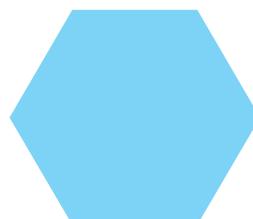
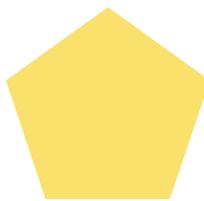
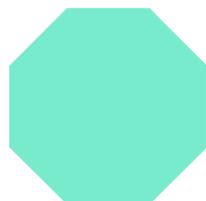
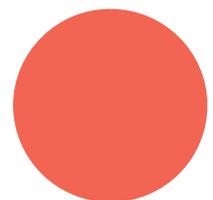
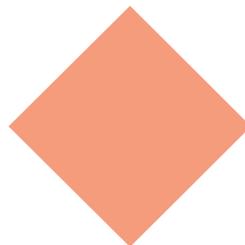
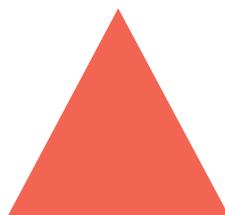
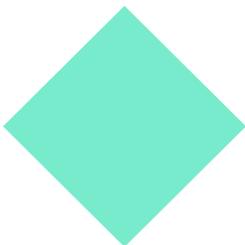
国のちがい



ぶんか

文化のちがい

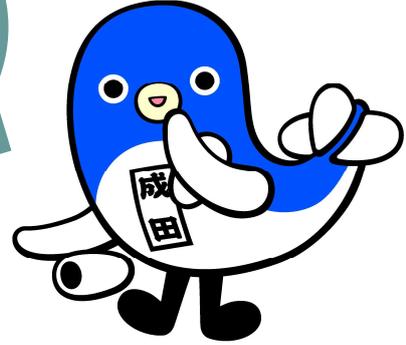
成田市
多文化共生指針



たぶん かきょうせい

多文化共生とは？

こくせき みんぞく ちが ひとたち たが
 国籍や民族が違う人達が、お互いの
 ぶん か ちが みと さべつ びょうどう
 文化の違いを認めて、差別なく、平等
 たちば おな なりたし じゅうみん
 な立場で、同じ成田市の住民として、
 い
 いっしょに生きていくことです。



ししん

指針について

す ひと く ひつよう
 住んでいる人みんなが、暮らしやすいまちをつくる必要があります。
 たが ぶんか りかい かんが かた みと あしやかい
 お互いがそれぞれの文化を理解して、いろいろな考え方を認め合う社会をつくる
 なりたし たぶんかきょうせい かんが かた
 ために、成田市の多文化共生をめざして考え方をまとめました。

きほん かんが かた
基本の考え方

たが たいせつ かんが かた う い
 みんながお互いを大切にし、いろいろな考え方を受け入れて、
 いっしょ い
 一緒に生きていけるまち

きほん もく ひょう
基本目標

みんなで
 いっしょ せいかつ
 一緒に生活できる
 かんきょう
 環境づくり

あんしん く
 安心して暮らせる
 まちづくり

ひとり
 一人ひとりの
 ちが たいせつ
 違いを大切にする
 まちづくり

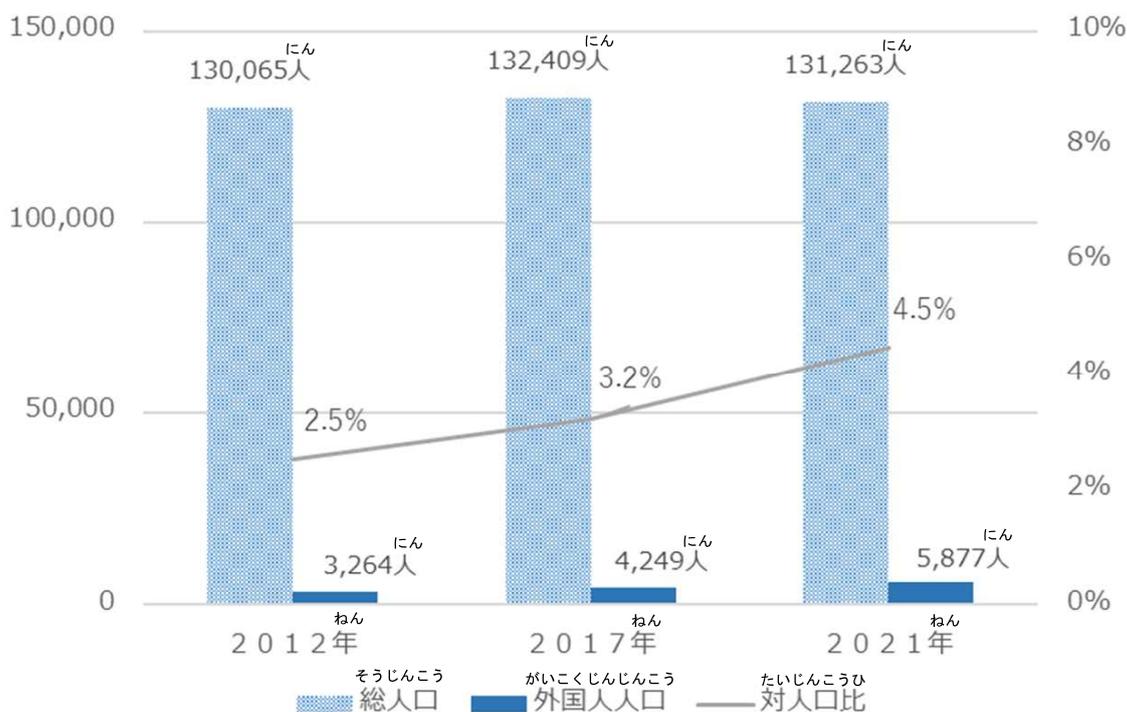
それぞれの
 よ
 良さをいかす
 まちづくり

たいさく すす かた
11の対策の進め方

成田市の外国人住民の状況

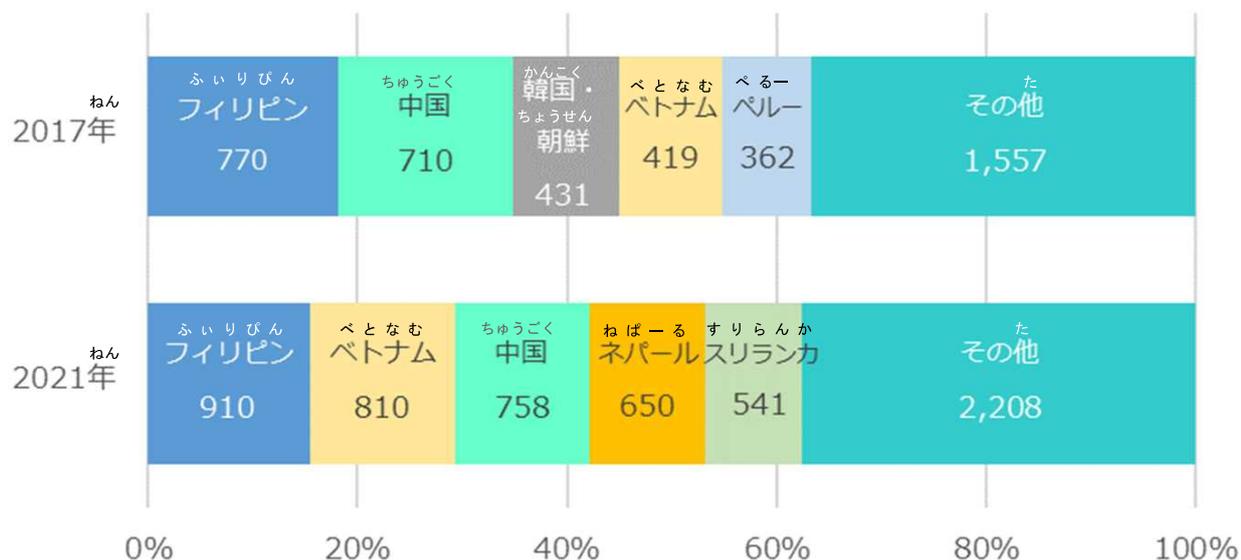
人口の移り変わり

成田市に住民登録をしている外国人の数は、2017年3月末と比べると、4年間で1,628人、38.3%増えています。



国・地域別人口

外国人が増えるにつれて、国や地域の数も増えており、2017年3月末の63か国・地域から2021年3月末には66か国・地域に増えています。



新しいよう 指針の内容

目標

生活できる
環境づくり

みんなで一緒に

安心して暮らせる
まちづくり

一人ひとりの
違いを大切にする
まちづくり

それぞれの
良さをいかす
まちづくり

対策の進め方

① 市のお知らせや、役に立つ情報を外国語で発行する。相談できる場所をつくる。

② 外国人がもっと日本語を学べるようにする。

③ 日本の文化をもっとよく知る。

④ 勉強や学べる環境をつくる。

⑤ 安心して働ける環境をつくる。

⑥ 災害が起きた時に助けるしくみをつくる。

⑦ 子育て、保健・福祉・医療サービスを
行う。

⑧ 家を見つけるための手伝い。

⑨ 多文化共生への理解を進め、
環境を整える。

⑩ 外国人が地域や社会の行事に
参加しやすくなるよう助ける。

⑪ 外国人の力もあわせて成田市の良いところを増やし、グローバル化に対応する。

主な活動

外国人総合相談窓口を開く。パンフレットを色々な国の言葉で作る。

外国人向け日本語教室を開く。

外国人のための役に立つ情報を伝える。
出前講座を行う。

外国人児童生徒のところに日本語を教える先生が行く。
世界のいろいろな国を知るための授業を行う。

仕事に必要な技術を教える。
ビジネスを始めたい人への手伝いをする。

地震や台風に備えて計画を立てる。市からのお知らせメールを色々な国の言葉で出す。

母子健康手帳を配る。子育てで心配や不安などの相談にのる。

住宅セーフティネット制度を使う。

国際市民フェスティバルの開催。人権を大切にするよう理解を進める。

国際交流や国・地域をこえて理解しあうことをすすめる。

成田ブランドを育てる。ユニバーサルツーリズムをすすめる。

